2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理学	必修/選択の別	必須	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時限	通年	教室名	2校舎502
担 当 教 員	花原　容成	実務経験とその関連資格			

《授業科目における学習内容》

pathology(病理学)は古くから、「病」は人間の「悩み」であり、悩みの成因と成り立ちを明らかにする学問である。病気の原因、発生機序の解明や病気の診断を確定するのを目的とする医学の一分野である。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:『病理学概論』 第2版　東洋療法学校協会 編 (医歯薬出版株式会社)

《授業外における学習方法》

予習:講義予定部分の教科書の確認。
復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理。
共通:解剖学・生理学の復習。

《履修に当たっての留意点》

病理学を履修することは解剖学、生理学の知識が必要となってくる。
これらの基礎的な知識をもって病理学を履修すれば、病気の仕組み、成り立ちを知ることが容易にでき、他の教科にもつながると考える。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	病理学で学ぶことについて理解し説明できる。	教科書	シラバス確認。講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	病理学とは？…医療における病理学の役割、疾病の概念・分類		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	病因(内因)について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	病因1…内因:①素因と体質②遺伝③内分泌		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫に関して説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	病因2…内因:④免疫(液性免疫と細胞性免疫、抗原提示細胞)		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	病因(外因)について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	病因3…外因:①栄養素の不足と過剰②物理的病因③化学的要因		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器系について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	循環障害1…循環系の復習(大循環と小循環、リンパ循環、門脈循環)		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環障害の原因・発症機序・病態病理が説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	循環障害2…①充血②うっ血		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環障害の原因・発症機序・病態病理が説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	循環障害3…③貧血④虚血（虚血性心疾患）⑤出血（破綻性・漏出性）		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環障害の原因・発症機序・病態病理が説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	循環障害4…⑥血栓症⑦塞栓症⑧梗塞⑨水腫・浮腫・脱水⑩ショック		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫異常の原因・発症機序・病態病理が説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	免疫異常1…ヒトの免疫機構（液性・細胞性）		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	アレルギー疾患の原因・発症機序・病態病理が説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	免疫異常2…アレルギー（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ型）		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫不全症候群の原因・発症機序・病態病理が説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	免疫異常3…免疫不全、自己免疫異常（SLE、関節リウマチ、橋本病）		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	代謝異常、各種奇形の原因・発症機序・病態病理が説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	先天性異常1…代謝異常、奇形		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	遺伝性疾患の原因・発症機序・病態病理が説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	先天性異常2…遺伝性疾患		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	染色体異常の原因・発症機序・病態病理が説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	先天性異常3…染色体異常		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前期で学んだ疾患の原因・成り立ちについて説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	総括		

2022　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	病理学		必修/選択の別	必須	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	通年	教室名	2校舎502
担 当 教 員	花原　容成	実務経験とその関連資格				

《授業科目における学習内容》

pathology(病理学)は古くから、「病」は人間の「悩み」であり、悩みの成因と成り立ちを明らかにする学問である。病気の原因、発生機序の解明や病気の診断を確定するのを目的とする医学の一分野である。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:100%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

教科書:『病理学概論』 第2版　東洋療法学校協会 編 (医歯薬出版株式会社)

《授業外における学習方法》

予習:講義予定部分の教科書の確認。
復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理。
共通:解剖学・生理学の復習。

《履修に当たっての留意点》

病理学を履修することは解剖学、生理学の知識が必要となってくる。
これらの基礎的な知識をもって病理学を履修すれば、病気の仕組み、成り立ちを知ることが容易にでき、他の教科にもつながると考える。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	病因について説明できる。	教科書	シラバス確認。講義予定部分の教科書の確認。
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション・病因復習		
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	萎縮の原因・種類・病態を説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	退行性病変①萎縮		
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	変性の原因・種類・病態を説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	退行性病変②変性		
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	壊死と死の原因・種類・病態を説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	退行性病変③壊死と死		
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	肥大と増殖の原因・種類・病態を説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	進行性病変①肥大と増殖		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	再生の種類・病態を説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	進行性病変②再生		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	化生の原因・種類・病態を説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	進行性病変③化生		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	移植について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	進行性病変④移植		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	創傷治癒・異物の処理について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	進行性病変⑤創傷治癒・組織内異物の処理		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症の概要について病理学的に説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	炎症①炎症の一般		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	炎症の原因・種類・病態を説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	炎症②炎症の分類		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	腫瘍の定義について病理学的に説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	腫瘍①腫瘍の一般		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	良性腫瘍の種類・病態を説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	腫瘍②良性腫瘍		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	悪性腫瘍の種類・病態を説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	腫瘍③悪性腫瘍		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	後期で学んだ疾患の原因・成り立ちについて説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、解剖・生理の復習。
		各コマにおける授業予定	総括		